

1 精神保健福祉事業

精神障がい者等の医療及び保護を行い、その社会復帰を促進し並びにその発生の予防・早期発見、その他住民のメンタルヘルスの保持・増進を図る。

(1) 精神医療対策の状況

① 精神障害者の保護に関する取扱件数 平成24年度

種別 \ 区分	申請件数	診断件数	結 果	
			要 措 置	措置不要
総 数	4	4	3	1
法第23条	0	0	0	0
法第24条	4	4	3	1
法第25条	0	0	0	0

② 自立支援医療費（精神通院医療）制度

精神疾患（てんかんも含む）の治療のために、指定医療機関に通院している方を対象に、通院医療費の9割までを公費で負担する（一定の要件により毎月の上限額設定あり）。

平成24年度末管内受給者数 2, 297件

(2) 精神保健福祉対策

① 精神障害者保健福祉手帳交付事業

精神障がい者の社会復帰・社会参加の促進を図ることを目的に各種サービスが提供されるよう手帳を交付している。手帳所持者には、等級に応じて税制上の優遇措置や交通費（バス）の運賃割引等がある。

平成24年度末管内の所持者数 1, 018件

② 通院患者リハビリテーション事業

通院患者を一定期間通所事業所に通わせ、適応訓練により社会的自立を目指す制度で、期間は6ヶ月、通算3年を限度に更新ができる。

希望者の選択肢を拡大するためにも、ハローワーク等と連携し、事業所への周知を図る必要がある。

管内の稼働事業所 1ヶ所 訓練生 1名 （4月～6月）

③ 精神障がい者保健福祉相談事業

ア 精神科クリニック

専門医及び保健師による定期相談の実施

回数11回 （相談数26件）

イ 相談及び訪問指導

在宅の精神障がい者及びその家族に対し、社会復帰の促進や自立と社会参加のた

めの相談・指導・家庭訪問を行う。

所内相談（延件数）	82件
電話相談（延件数）	590件
訪問指導（延件数）	17件

④ 障がい者地域生活推進事業

ア 精神保健福祉連絡会（こころ元気会）

関係機関との連携を強化し、地域ケアの充実及び地域住民のこころの健康の保持増進を目指し、連絡会を実施する。

開催回数	4回
参加延人数	116名
内容（第1回）	事業計画、関係機関事業紹介
（第2回）	松阪地域自殺・うつネットワーク会議
（第3回）	講義・演習「WRAP～元気回復行動プラン～」
（第4回）	施設見学「就労継続支援A型事業所 丹生乃里工場」

イ 市町精神担当保健師等勉強会

精神保健福祉を担当する市町保健師等を対象に、地域における相談支援活動の充実を図ることを目的として、勉強会や情報交換を実施する。

開催回数	3回
参加延人数	48名
内要（第1回）	講義・事例検討「ひきこもりについて」
（第2回）	事例検討「多問題家族の支援について」
（第3回）	講義・演習「うつと認知行動療法について」

ウ 家族勉強会

家族・当事者を対象に勉強会を実施。

内容	講義「聴き上手になろう～よりよい人間関係づくりのために」 メンタルパートナー養成研修
参加数	21名

⑤ 精神保健福祉体制の整備

管内の精神保健福祉対策の推進にむけて、市町、関係機関と連携し体制整備を進める。

地域移行支援協議会	3回
医療観察法ケア会議	7回
認知症医療連携協議会	2回
市町ケース検討会	5回
圏域自立支援連絡協議会	3回
松阪市自立支援協議会	
地域移行・定着支援WG	1回
松阪地域依存症ネットワーク会議	1回
ピアサポーター養成講座	13回
家族会	2回

2 難病対策

(1) 難病在宅ケア事業

難病患者・家族が必要なサービスを受けながら安心して地域で生活できることを目指し、地域で保健、医療、福祉を包括した在宅療養支援体制の推進を図ることを目的とする。

① 個別ケアの実施

ア 個別ケアの必要なケースに対し、地域社会資源の活用、連携を図り、必要なサービスのコーディネートを行う。

訪問相談	来所相談	電話相談
63件	43件	631件

イ 在宅療養支援計画策定、評価事業

要支援患者に対し、個々の実態に応じて、在宅療養支援計画を作成し、適切なサービスの提供と評価を行い、関係機関等と相互に連携し、支援体制の整備を図る。

<災害を想定した支援>

ウ 災害時要援護者リストの登録支援

平成23年度より、松阪管内すべての市町（松阪市、明和町、多気町、大台町）で災害時要援護者リストへの登録が可能となり、平成23年度に登録希望者について登録支援を実施した。平成24年度も前年度に引き続き、登録希望を確認し、登録支援を実施した。

登録者数	松阪管内	松阪管内内訳			
		松阪市(登録希望者数)	明和町	多気町	大台町
平成21年度	26名	登録不可0名(206名)	7名	8名	12名
平成23年度	82名	75名	5名	2名	0名
平成24年度	20名	14名	3名	2名	1名
計	128名				

エ 電源を使用する医療機器使用状況の確認

難病患者の療養状況および人工呼吸器など常用していて医療依存度が高い難病患者を把握し、個別支援計画の策定等、今後の支援につなげていくことを目的に、特定疾患更新時に聞き取り調査を実施した。

② 医療相談事業

目的：在宅療養に多いトラブル、その予防や対応等、医療従事者から必要な情報を提供し、患者および家族が安心して療養生活を送れることを目的とする。

日時：平成24年12月6日（木） 13：30～15：30

場所：三重県松阪庁舎 6階大会議室

対象：神経難病患者、家族

筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、多系統萎縮症、
参加人数：患者12名、患者家族13名、関係者2名

内容：講演、個別医療相談

ア 講演内容

○「神経難病の在宅医療～安心して過ごされるために～」

講師：医療法人林内科 林毅先生

○「安心して暮らせるよう訪問看護師がお手伝いします」

講師：済生会明和病院訪問看護ステーション 中村恭子先生

○「肺炎を予防する口腔ケア～磨けていますか？嚥んでいますか？」

講師：松阪地区歯科医師会口腔ケアステーション 近田紀子先生

イ 医療個別相談の内訳

医療	看護	栄養	歯	意志伝達装置
3名	1名	2名	4名	3名

相談対応者

○ 医療：医療法人林内科 林毅先生

○ 看護：済生会明和病院訪問看護ステーション 中村恭子先生

○ 栄養：済生会松阪総合病院 松本由紀先生

○ 歯：松阪地区歯科医師会口腔ケアステーション 近田紀子先生

(2) 特定疾患医療

難病は治療が極めて困難で長期の療養を要し、治療費も高額なため特定な56疾患を指定し、患者の自己負担を軽減し治療の促進を図る。

番号	疾病名	松阪	多気	明和	大台	合計
1	ベーチェット病	24	1	2	2	29
2	多発性硬化症	20	2	1	1	24
3	重症筋無力症	16	3	2	3	24
4	全身性エリテマトーデス	74	10	13	4	101
5	スモン	2				2
6	再生不良性貧血	16	2	5	1	24
7	サルコイドーシス	29	5	3	1	38
8	筋萎縮性側索硬化症	10		4	1	15
9	強皮症・皮膚筋炎又は多発性筋炎	84	7	8	6	105
10	特発性血小板減少性紫斑病	60	5	5	3	73
11	結節性動脈周囲炎	11	1	3	1	16
12	潰瘍性大腸炎	178	21	31	10	240
13	大動脈炎症候群	5	1			6
14	ビュルガー病	3			1	4
15	天疱瘡	7	4			11
16	脊髄小脳変性症	31	2	3	2	38

17	クローン病	3 2	2	6	3	4 3
18	難治性のうち激症肝炎					
19	悪性関節リウマチ	1 1				1 1
20	パーキンソン病関連疾患	1 9 5	1 7	2 6	1 3	2 5 1
21	アミロイドーシス	2	1	1	1	5
22	後縦靭帯骨化症	6 6	1 3	1 4	5	9 8
23	ハンチントン舞踏病	2				2
24	もやもや病（ウイリス動脈輪閉塞症）	8	2	4	1	1 5
25	ウェゲナー肉芽腫			1	1	2
26	特発性拡張型（うっ血）心筋症	5 6	7	1 1	6	8 0
27	多系統萎縮症	1 7		1	2	2 0
28	表皮水疱症					
29	膿疱性乾癬	4		1	1	6
30	広範脊柱管狭窄症	9		2		1 1
31	原発性胆汁性肝硬変	3 9	5	1 1	3	5 8
32	重症急性膵炎	1	1			2
33	特発性大腿骨頭壊死症	1 8	2	2	1	2 3
34	混合性結合組織病	1 4		3	3	2 0
35	原発性免疫不全症候群	2				2
36	特発性間質性肺炎	1 2		1		1 0
37	網膜色素変性症	2 5	2	3	4	3 4
38	プリオン病	1		1		2
39	肺動脈性肺高血圧症	2	1			3
40	神経線維腫症	2				2
41	亜急性硬化性全脳炎					
42	バッド・キアリ(Budd・ Chiari) 症候群					
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1				1
44	ライソゾーム病（ファブリー病含む）					
45	副腎白質ジストロフィー					
46	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）					
47	脊髄性筋萎縮症					
48	球脊髄性筋萎縮症	2				2
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5		1		6
50	肥大型心筋症	7		4		1 1
51	拘束型心筋症					
52	ミトコンドリア病					
53	リンパ脈管筋腫症（LAM）					
54	重症多形滲出性紅斑（急性期）					
55	黄色靭帯骨化症	6	1	1	1	9
56	間脳下垂体機能障害	2 0		2	1	2 3
	合 計	1,1 2 8	1 1 9	1 7 4	8 2	1,5 0 3

3 母子保健対策事業

母性並びに乳幼児の健康の保持、増進を図り、適切な保健指導、訪問、面接、医療の措置を講じる。

(1) 健やか親子支援事業

親子が健やかに暮らせる地域づくりをめざし、社会的、家庭的、身体的にリスクの高い児に対して、家庭訪問や相談を行い健やかな発育・発達を支援する。

また、関係者を対象に研修会や連絡会を開催し、関係機関が連携し早期に支援が行えるよう体制を整備する。

① 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

ア 家庭訪問

(低出生体重児、養育医療受給者、小児慢性特定疾患受給者等長期在宅療養児とその家族)

延べ 138件

イ 母子医療 (未熟児養育医療、育成医療、小児慢性特定疾患) 申請時等の面接相談

延べ 411件

ウ 電話相談 (母子医療制度に関する問い合わせを含む)

延べ 154件

② 児童虐待予防ケア

ア 家庭訪問

延べ 17件

イ 連絡調整会議

延べ 7回/年

③ 思春期保健

ア 思春期相談

延べ 6件

イ 学校保健役員会・理事会

7回/年

④ 母子保健体制の整備

ア 松阪管内母子保健担当者意見交換会

1回/年

イ 管内市町との意見交換会

8回/年

ウ 管内母子保健担当者会議

3回/年

○第1回 参加者数17名

・妊娠届出時アンケート調査の実施に関する検討

○第2回 参加者数39名 (うち22名は研修会のみ参加)

・研修会「低出生体重児とその家族への支援

～地域における子育て支援のポイント」

講師 三重中央医療センター 小児科 山川 紀子 氏

・権限移譲について

○第3回 参加者数25名

・研修会「3種類の自己記入式質問票の活用方法について」

講師 三重大学医学部附属病院

母性看護専門看護師 森實 かおり 氏

・研修会「児童相談所からみた子ども虐待の予防 ～母子保健への期待～」

講師 北勢児童相談所 家庭児童支援四課 主幹 稲垣 美登利 氏

エ 松阪地域における周産期親子支援連絡会議 2回/年

○第1回 参加者数29名

・講演 「妊産婦のメンタルヘルス」

講師 南勢病院 院長 齋藤 洋一 氏

・産科医療機関から市町への連絡状況と市町での支援内容に関する報告・検討

・管内での母子保健に関する取り組みに関する報告・検討

○第2回 参加者数31名

・講演 「“心に残るお産を” ～当院での取り組み～」

講師 松阪中央総合病院 産婦人科病棟

助産師 牧野 紗奈 氏

有田 理恵 氏

岩塚 智美 氏

・多気郡における妊娠届出時アンケート調査の実施に関する報告・検討

オ 児童虐待予防研修会 1回/年

・「ハイリスクケースへの対応のポイント」

講師 徳永家族問題相談室 室長 徳永 雅子 氏

カ 松阪市次世代育成支援行動計画地域協議会 1回/年

(2) 各種医療給付事業

① 医療給付状況

平成25年3月31日現在

区分	育成医療	育成補装具	養育医療	不妊治療	小児慢性
申請件数	84	1	42	215	214
承認件数	84	1	41	215	210
却下件数	0	0	1	0	4

ア 自立支援医療（育成医療）

身体上の障がい、内臓障がい等を持つ児童で、適切な医療を行うことによって社会復帰できる見込みのある者の治療補装具等の公費負担を行う。

イ 養育医療

満1歳未満の乳児で、出生体重が2,000g以下であるか、または生活力が特に希薄で、一般状態等に異常を示すもののうち、医師が入院を必要と認めた場合、その医療費の公費負担を行う。

ウ 特定不妊治療費助成

特定不妊治療を受けられたご夫婦に対し、費用の一部を助成する。

エ 小児慢性特定疾患治療研究事業

国が指定した特定疾患にかかっていることにより、長期にわたり療育を必要とする児童の健全な育成をはかるため、治療方法に関する研究等に資する医療費の公費負担を行う。

4 肝炎治療特別推進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成する。

管内対象者数（平成24年度末現在）	インターフェロン治療	19名
	核酸アナログ製剤治療	60名

5 原子爆弾被爆者健康管理

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律により、被爆者からの申請により被爆者健康手帳の交付を行う。健康手帳所持者には医療の給付、健康管理のための定期及び申請に基づく健康診断を実施し、健康の保持について指導している。また、健康手帳所持者で原子爆弾の傷害作用に起因する負傷または疾病の状態にある者、介護を受けている者に対し各種手当ての支給を行っている。

(1) 市町別原子爆弾被爆者手帳所持者及び各種手当て受給状況

(平成25年3月31日現在：人数)

区分 市町名	手帳 交付数	各種手当受給者数					
		医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当	家族介護 手当	介護手当 (重度)	葬祭料
松阪市	32	1	26				7
多気町	1		1				
明和町	1		1				
大台町	1		1				2
合計	35	1	29	0	0	0	9

・葬祭料については、平成24年度支払い件数

(2) 原子爆弾被爆者定期健診状況

(平成24年度実績：受診人数)

区分 市町名	定期健康診断				申請による健康診断					
	第1回		第2回		健康診断		がん検診			
	一般	肝機能	一般	肝機能	一般	肝機能	胃 (直接)	肺 (X線)	大腸	多発性 骨髄腫
松阪市	16	15	15	14			2	2	3	2
多気町	1	1	1	1						
明和町	1	1	1	1						
大台町										
合計	18	17	17	16			2	2	3	2